

初学女房世物語

 三

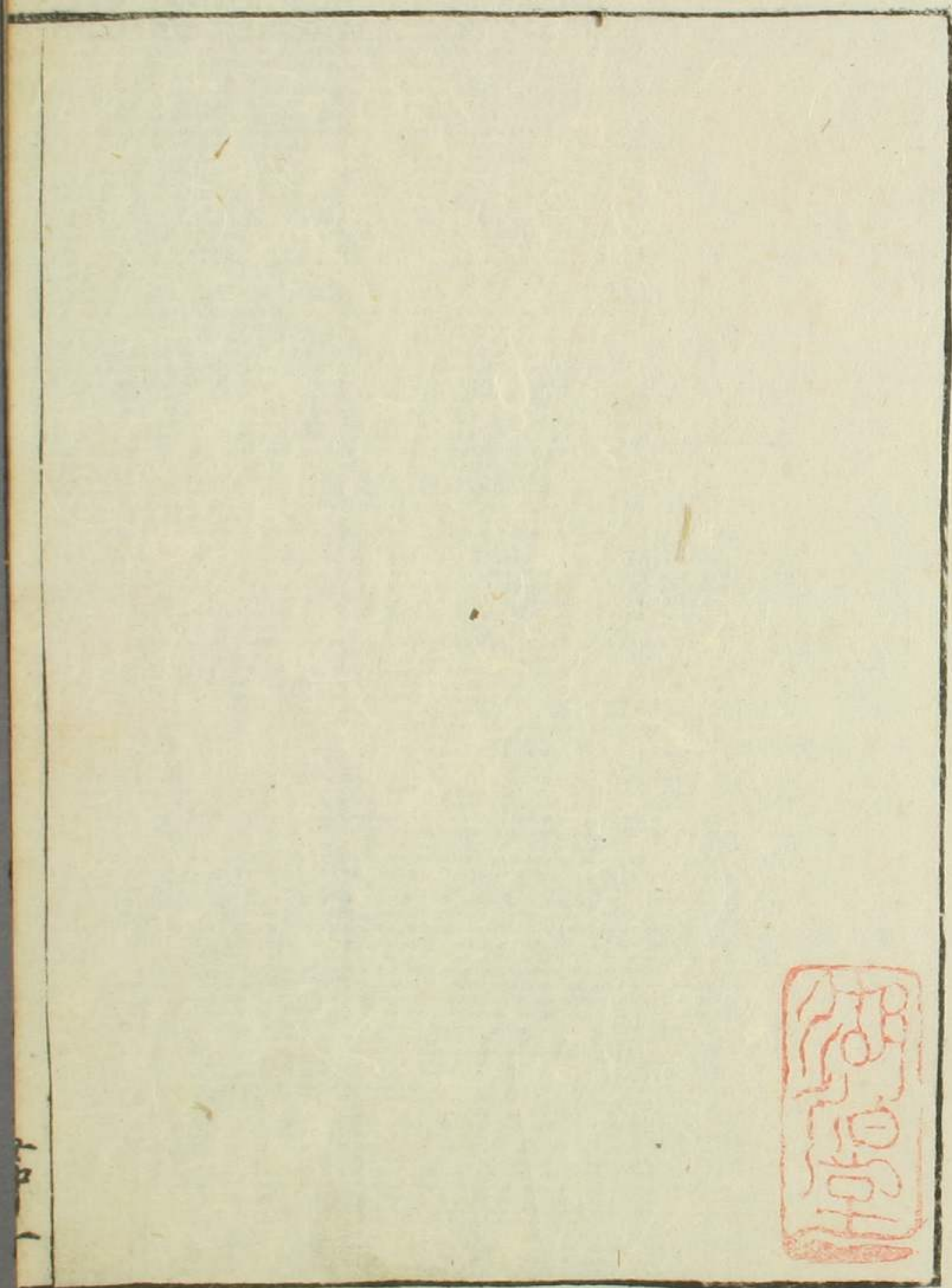
特別
 13
 2741
 3





明
號
卷

13
2741
3

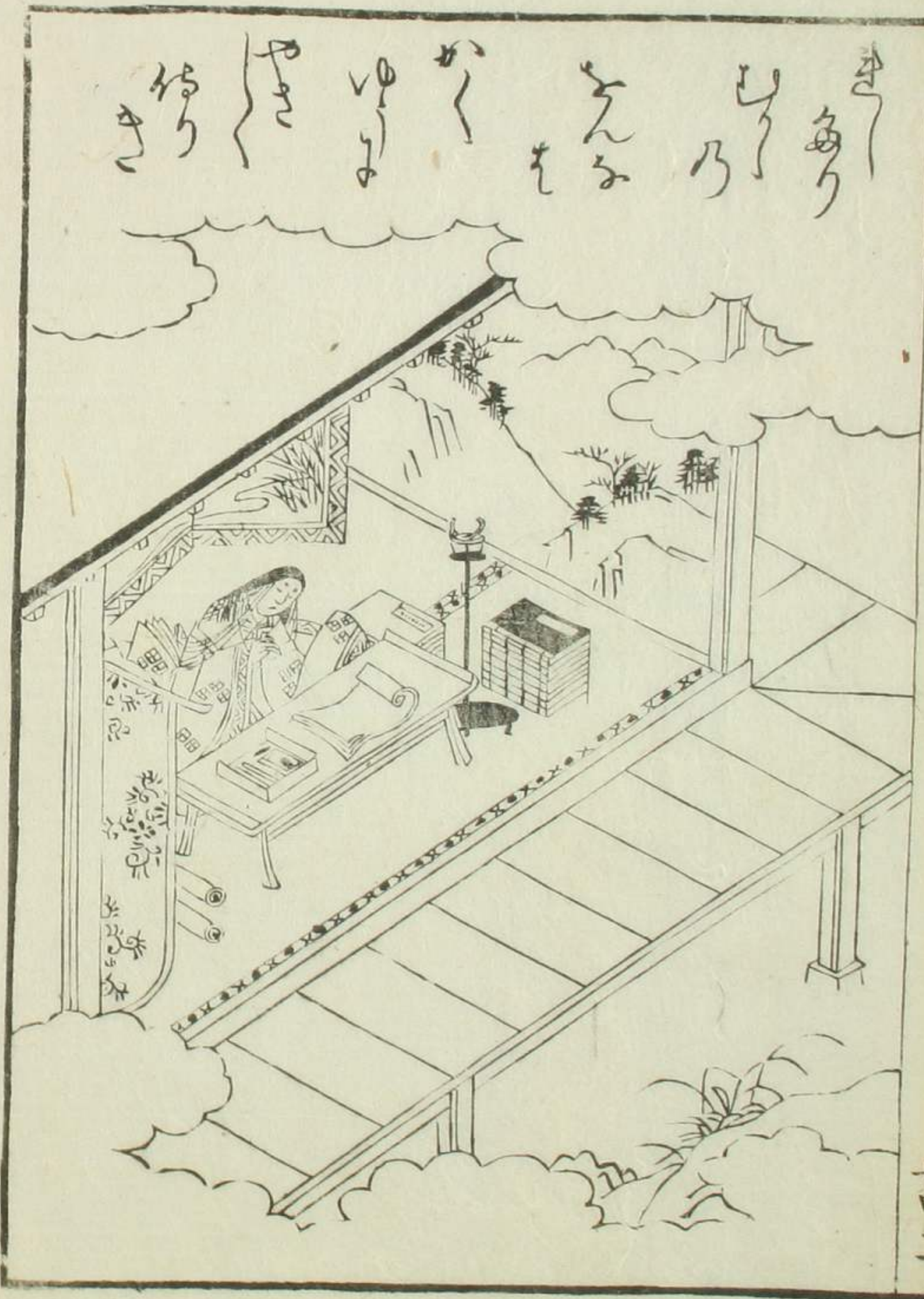


松岡吉訓
藏書之章



御印

あゝ女めづら乃を家いへ一ぱち。あや毒どく乃をあやりするをさしつていふら
りしせらひをもとりて毒どく乃をうらひの葉はをうけ
てつりたればあやどく乃を女めづら乃をうらひの葉はをうけ
ちまちにあやればいふらしつていふらしつていふ
ちまちにあやればいふらしつていふ
あやくさしつていふらしつていふらしつていふら
あやればいふらしつていふ
子こ乃を葉はにあればいふらしつていふ
いふらしつていふ



ことおぼこをもちてはこゝろあれふかよ
あひまをまじりてこゝろの魚のきく津年えんをも
まをまじりてたをもちてはこゝろあれふかよ
こゝろの事なり

あつれどもあつてはこゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり

かたれをもちてはこゝろあれふかよ
こゝろの事なり

はなよりこゝろあれふかよ
こゝろの事なり

あつれどもあつてはこゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり
こゝろの事なり

つれづれにあはれはれ
おとこを大切^{たいせつ}に
まはらさるる

あつしと野中^{のちゅう}の清成^{せいせい}も
あはれはれ

あつしとついでに

あつしと總周^{そうしゅう}の昇^{のぼ}也^えも
あはれはれ

あつしとあつしとあつしと
あはれはれ

あつしとあつしとあつしと
あはれはれ

あつしとあつしとあつしと
あはれはれ

あつしとあつしとあつしと
あはれはれ

あつしとあつしとあつしと
あはれはれ

せふちかきつるに...大將に...
 ちりし...大將...
 けり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...

たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...
 たり...

あらがや
 赤深清う

たり...
 たり...
 たり...

とらうきく得るれえ。おとこあつともあつとす
おとまんとしともあつとす。あつともあつともあ
く得るれえ。おとまんとしともあつともあ
得るれえ。おとまんとしともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ

いんりのいんりのいんりのいんりのいんりの
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ
あつともあつともあつともあつともあつともあ

あき名うと入のりしきあひま

ころ乃とをいしころん

ともしゆけし古今拾遺集よまにりり

名譽れりあやまもりのちりりりり

ゆりしゆをうしゆるにあまあま

あまあまのりりりりりりりりりり

かありりりりりりりりりりりりり

りりりりりりりりりりりりりりり

あろのりりりりりりりりりりりり

人にあまあまあまあまあまあま

をう事。くは乃雨をとらりりりりり
をよしにせりりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりりりりりりり
るのあれをらりりりりりりりりりり
もをえりりりりりりりりりりりりり
人乃あまあま事をおしりりりりりり
微よりりりりりりりりりりりりりり
あまあまあまあまあまあまあまあま
りりりりりりりりりりりりりりりり
あまあま中庸りりりりりりりりりり
天徳の奇

リつゝ父あんなりかたせも〜しつやあや
まほひともみゆゑ〜
すれは〜母せしまや〜
とつやまられたる〜
を〜
ち〜
と〜
あ〜
う〜
る。

〜
〜
酒を〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜



